

## 立教愛と舞研愛

村上 隆志 (第 17 期・昭和 51 年卒)

大学を卒業して早いもので 45 年が経ち、来年の 4 月をもって入学して 50 年ということは、ダンス歴も 50 年ということになるんだ！

私は 62 歳まで 25 年に及びクルーズ客船飛鳥の会社に勤め、仕事で飛鳥に乗船した時は毎日のお客様のお相手をしていたので、50 年というもののほとんど途切れることなく踊り続けていて、ダンスが生活の一部になっているといっても過言ではないと思う。今となっては大学に入学してすぐの新入生歓迎期間中に声をかけていただいた、当時 2 年生だった神田さんにこの場を借りて感謝したい。

それにしても 4 年間の大学生活を振り返って、学生の本文たる学業のことは微塵も思い浮かばないのは私だけだろうか？観光学科(当時)卒のレットルがクルーズ会社への転職に役に立っているだろうが、授業にも出ず雀荘通いしていただけだったので、何を学んだか思い浮かばないのは当たり前のこと。まああの時もっと真面目に授業に出席したり勉強したとしても、今以上の境遇を得られたとは思えないので、舞研に入部して仲間達と大いに学生生活をエンジョイできたことは幸せだったのでしょう。

さてそれはともかく、ひょんなことから今年の 8 月、数十年ぶりに夏の強化練習に 2 日間参加して、現役たちの練習風景に立ち会うことができ、そこで最も印象に残った言葉が表題の「立教愛と舞研愛」でした。今年の強化練習にコーチとして参加してくれた立教卒プロの曾又奈々さんと村田雄基君。村田プロは、当時の舞研首脳陣の方針とそりが合わず？2 年生の時退部したことを聞いていたので、ボランティアで熱心にコーチングしてくれたことにまずビックリ！更に 1 年しか在籍してなかったにもかかわらず、「舞研愛」があるとの言葉に二度ビックリ！自分の舞研愛の薄っぺらさに恥入り、今更ながら少しでも恩返しをしなければ、、、と思った次第です。

時節柄、サークル活動全般が下火になっているにもかかわらず、細々ながらであっても立教舞研が存続していること、それを支えている現役、OBOG に感謝するとともに、「立教愛と舞研愛」を持つ方々の輪がどんどん広がって、昨今の衰退気味の時代から隆盛の時に向かう日が来るであろうことを期して、この文章のオチとしたいと思います。